2026年7月改訂(第5版)

貯法	気密容器、室温保存

動物用医薬品

外耳炎治療薬 犬用
劇薬　指定医薬品

承認指令書番号	販売開始
4動薬第117号	2018年9月

Virbac

イズオティック® EASOTIC®

【本質に関する説明】
イズオティック®は、ヒドロコルチゾンアセポン酸エステル(HCA)、ゲンタマイシン硫酸塩、ミコナゾール硝酸塩を有効成分とする犬用の外耳炎治療薬です。
アミノグリコシド系抗生物質のゲンタマイシン硫酸塩はグラム陽性菌及びグラム陰性菌に幅広い抗菌スペクトルを有し、イミダゾール系抗真菌薬のミコナゾール硝酸塩は各種病原真菌に対して強い抗菌作用を示します。また、副腎皮質ホルモンであるHCAを配合することで外耳炎による炎症を抑えます。
本製品は耳道内での製剤の滞留性を良好にするために適度な流動性を有します。さらに投与時の容器の向きに関わらず、治療に必要な量が、確実に外耳道に到達するように設計された特殊な容器を採用しています。

【成分及び分量】(本品1mL中以下を含有する)
ヒドロコルチゾンアセポン酸エステル……1.11 mg
ミコナゾール硝酸塩……17.4 mg
ゲンタマイシン硫酸塩 …… 1.505mg(力価)

【効能又は効果】
有効菌種　本剤に感受性のブドウ球菌属、緑膿菌、シュードモナス・フルオレッセンス、ストレプトコッカス・カニス、プロテウス・ミラビリス、大腸菌及びマラセチア・パチデルマチス
適応症　犬の感染性外耳炎

【用法及び用量】
容器のノズルを外耳道に差し込み、片耳あたり1回につきポンプ1プッシュ(1mL)を1日1回、連続5日間投与する。

【使用上の注意】
(基本的事項)

1.守らなければならないこと
(一般的注意)
・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
・本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。
(使用者に対する注意)
・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある使用者は、本剤の取り扱いには十分注意すること。過敏症の兆候が現れた場合は、直ちに医師の診察を受けること。
(犬に関する注意)
・本剤は点耳用以外に使用しないこと。
(取扱い及び廃棄のための注意)
・本剤は室温で使用し、冷たいままでは投与しないこと。
・初回使用後10日を過ぎた製品は使用しないこと。
・使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
・小児の手の届かないところに保管すること。
・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
・使い残りの本剤及び使用済みの空容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
2.使用に際して気を付けること
(使用者に対する注意)
・皮膚に付着した場合は、石けん等を用いて十分に洗い流すこと。
・眼に入らないように注意すること。万一眼に入った場合は、多量の水で洗い流すこと。眼に刺激を感じた場合は医師の診察を受けること。
・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
(犬に関する注意)
・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
・外耳内の異物、汚物、痂皮化した滲出物等は非刺激性の洗浄液で取り去り、よく乾かしてから本剤を投与すること。治療部位に生えている余分な毛は刈ることが望ましい。

(専門的事項)

①対象動物の使用制限
・本剤の成分に対し過敏症の既往歴がある場合は使用しないこと。
・鼓膜穿孔がある犬には使用しないこと。
・本剤の有効成分であるヒドロコルチゾンアセポン酸エステルは、実験動物で催奇形作用を示したとの報告があるので、妊娠犬及び妊娠している可能性のある犬には慎重に投与すること。
・クッシング症候群の犬には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合にのみ使用すること。
②重要な基本的注意
・アミノグリコシド系抗生物質の投与により、前庭、蝸牛及び腎の可逆的及び不可逆的な毒性が生じるおそれがあるので、聴器障害及び腎障害が現れた場合には使用を中止すること。
・大量又は長期にわたる広範囲の使用により、下垂体・副腎皮質系機能抑制を来すおそれがあるので注意すること。
・授乳中の犬における本剤の影響は検討されていない。
・本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の投与に止めること。
③相互作用
・聴器毒性のある薬剤との併用を避けること。
④副作用
・本剤投与により耳に紅斑が現れることがある。
・点耳剤の投与による聴覚障害が現れることがある。ほとんどが一過性であり、主に高齢犬に認められる。聴覚障害が認められた場合には投与を中止すること。

【使用法】
1.使用前に容器のオーバーキャップを外す。
2.初めて使用する時は、投与前に容器をよく振り、ポンプをしっかり根元まで数回押し込んで空打ちすることでノズル内に薬液を充満させ、確実に薬液が出てくることを確認してから使用する。
3.ポンプを1回押すごとに一定量が投与されるよう設計されているので、投与の際はポンプが止まるまで確実に押し下げること。
4.患部に薬液が到達するよう、投与後は犬の耳根部を軽くマッサージする。

【包装】1本入(10mL)
【使用期限】外箱に記載

【製品情報お問い合わせ先】
日本ビルバック株式会社　TEL.0120-550-700

製造販売業者:　日本ビルバック株式会社
〒611-0041 京都府宇治市槇島町二十四16番地

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html)にも報告をお願いします。